

鳥取県の経済動向

鳥取県企画部統計課 (平成22年6月1日公表)

<http://www.pref.tottori.jp/toukei/>

需要面・・・個人消費は、低調ながら、一部に持ち直しの動きがみられる。

大型小売店販売額(店舗調整後)は前年を下回ったが、ホームセンター・家電量販店販売額は前年を上回った。(3月)

乗用車新車新規登録台数、新設住宅着工戸数、用途別着工建築物工事金額、公共工事請負金額のいずれもが前年を上回った。(4月)

産業面・・・鉱工業生産は、持ち直しの動きがみられる。

鉱工業生産指数は、季節調整済指数が前月を上回り、原指数も前年を上回った。(3月)

雇用面・・・雇用情勢は、厳しい状況にある。

きまって支給する給与は前年を下回ったが、所定外労働時間は前年を上回った。(3月)

求人倍率は、新規は前月を上回ったが有効は下回った。新規求人数は前年を上回った。(4月)

需要面の動き

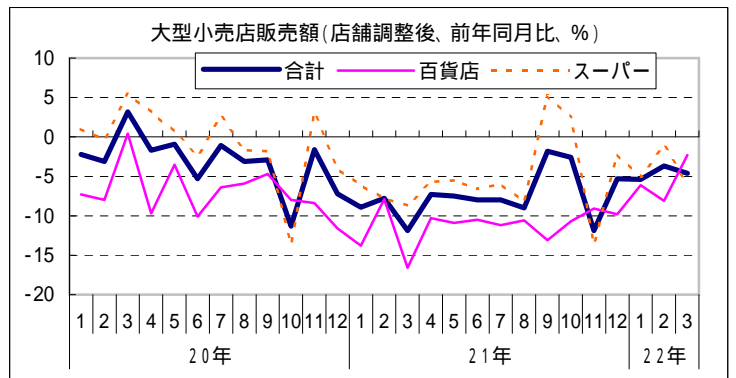
大型小売店販売額(3月)

全店舗の販売額は、51億1,300万円(前年同月比8.8%増)と4か月続いて前年を上回り、店舗調整後では24か月続いて前年を下回った。

販売額及び前年同月比

	販売額(万円)	前年同月比	
合計	511,300	8.8	(4.6)
百貨店	179,700	2.3	(2.3)
スーパー	331,600	16.0	(6.0)

()内は店舗調整後の数値



ホームセンター・家電量販店販売額(3月)

38億5,800万円(前年同月比7.2%増)と7か月続いて前年を上回った。

乗用車新車新規登録台数(4月)

1,565台(前年同月比24.8%増)と11か月続いて前年を上回った。普通車、小型車の区分は11か月続いて前年を上回り、軽自動車は3か月ぶりに前年を上回った。

新設住宅着工戸数(4月)

189戸(前年同月比22.7%増)と3か月続いて前年を上回った。持家系(前年同月比25.0%増)、貸家系(前年同月比19.0%増)ともに前年を上回った。

用途別着工建築物工事金額(4月)

21億9,500万円(前年同月比316.9%増)と前年を上回った。用途別では、医療・福祉(前年同月比約22.5倍)等で前年を上回り、卸売業・小売業(前年同月比55.7%減)等で前年を下回った。

公共工事請負金額(4月)

95億6,500万円(前年同月比6.9%増)と2か月続いて前年を上回った。発注者別の内訳では、国(前年同月比20.9%減)は前年を下回ったが、県(前年同月比4.8%増)、市町村(前年同月比33.5%増)等で前年を上回った。

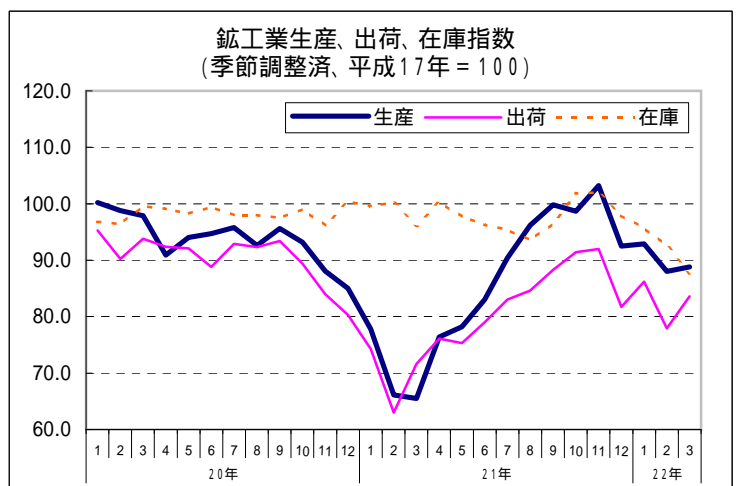
産業面の動き

鉱工業指数(3月)

生産指数(季節調整済)は88.8(前月比0.9%上昇)と2か月ぶりの上昇となり、原指数は97.2(前年同月比38.7%上昇)と8か月続いて上昇となった。

内訳を前月比で見ると、食料品・たばこが1.3%上昇となり2か月ぶりの上昇、電子部品・デバイスが6.3%上昇となり3か月続いて上昇、電気機械が3.5%上昇となり2か月ぶりの上昇、一般機械が4.2%低下となり3か月ぶりの低下となった。

在庫指数(季節調整済)は87.7と前月比5.3%低下した。



大口需要電力実績(3月)

133,037千kwh(前年同月比16.0%増)と4か月続いて前年を上回った。鉱工業用の大口需用電力は主要4区分のうち、パルプ・紙(前年同月比20.4%増)が6か月続いて、鉄鋼(前年同月比44.9%増)、機械(前年同月比13.7%増)が4か月続いて、その他の製造(前年同月比11.9%増)が3か月続いて前年を上回った。

青果物卸売量(4月、鳥取市場)

野菜が1,424t(前年同月比5.5%減)と4か月続いて前年を下回り、果実は642t(前年同月比16.4%減)と8か月続いて前年を下回った。

漁獲量(4月、境港)

9,357t(前年同月比11.5%減)と2か月続いて前年を下回った。

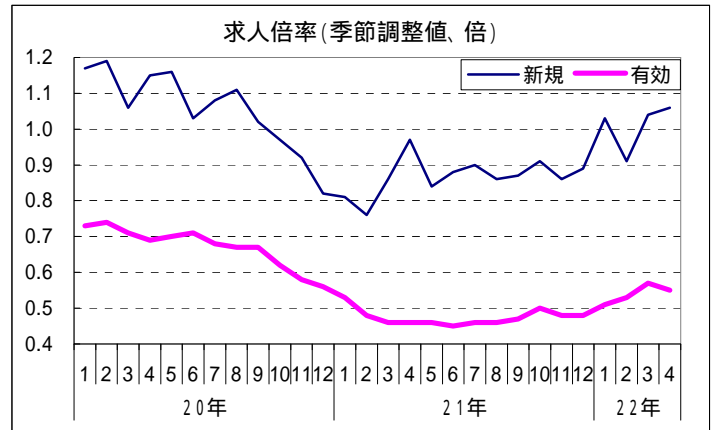
雇用・金融面の動き

新規求人倍率(4月)

1.06倍(前月差0.02ポイント上昇、前年同月差0.09ポイント上昇)であった。なお、新規求人数は、3,440人(前年同月比2.0%増)と4か月続いて前年を上回った。

有効求人倍率(4月)

0.55倍(前月差0.02ポイント低下、前年同月差0.09ポイント上昇)となっており、4か月連続で0.5倍台となっている。



現金給与総額(3月)

238,741円(前年同月比1.3%減)と15か月続いて前年を下回った。そのうち、きまって支給する給与は、237,488円(前年同月比1.6%減)で22か月続いて前年を下回った。

所定外労働時間(3月)

8.6時間(前年同月比21.2%増)と4か月続いて前年を上回った。主力の製造業は113.9%増となった。産業別の前年同月比では、医療、福祉(前年同月比34.6%増)等で前年を上回り、建設業(前年同月比62.0%減)等で前年を下回った。

預金・貸出金残高(3月末)

預金残高は、1兆9,595億円(前年同月比4.1%増)と15か月続いて前年を上回り、貸出金残高は、1兆1,553億円(前年同月比0.6%増)と11か月続いて前年を上回った。

参考

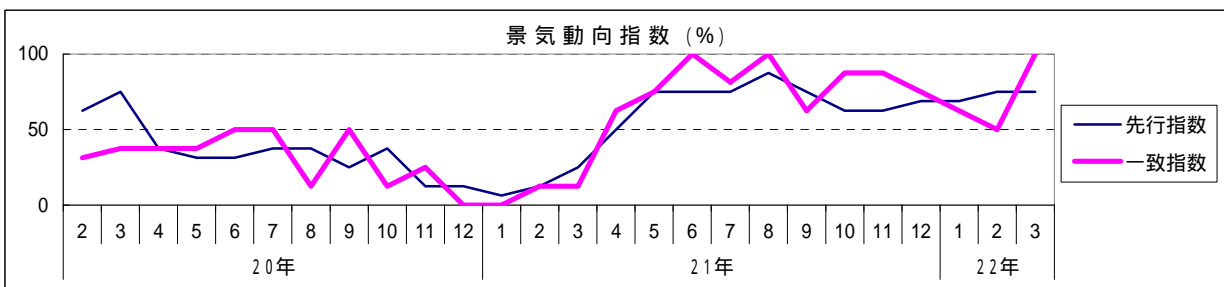
鳥取県景気動向指数(3月)

先行指数75.0%、一致指数100.0%、遅行指数60.0%となった。

先行指数は12か月続いて50%以上となった。

一致指数は12か月続いて50%以上となった。

遅行指数は2か月ぶりに50%以上となった。



企業倒産(4月)

件数は5件(前年同月比28.6%減)で前年を下回り、負債総額も7億4,300万円(前年同月比23.0%減)で前年を下回った。

消費者物価指数(4月、鳥取市、総合、平成17年=100)

98.4となり、前月比(-0.3%)、前年同月比(-1.8%)ともに低下した。

鳥取県の推計人口(5月1日現在)

588,540人で、前月と比べて163人(0.03%)増加し、前年同月と比べて3,366人(0.57%)減少した。

鳥取県企業経営者見通し調査(平成22年5月調査)

平成22年4~6月期は、平成22年1~3月期に比べると、景気、売上高及び経常利益のいずれもがやや不調となっている。

平成22年7~9月期は、平成22年4~6月期に比べると、景気、売上高及び経常利益のいずれもがやや不調となる見通しとなっている。